

# オレンジ通信 Vol.17

さ さ き  
佐々木まゆみ市議会活動レポート

2017年2月発行

発行元／仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ  
仙台市宮城野区幸町2-21-11 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp

## 間もなく震災より6年。 日々の皆様との対話を糧として 「心の復興」へ前進します。



まだまだ寒い日が続きますが、皆様に於かれましては風邪などひかれませんようお気を付けください。

昨年12月20日に、第4回定例会が終了致しました。私も防災の取り組み等について幾つかの視点から一般質問をさせていただきました。(中面に記載)

本年2月には、平成29年度の定例会がスタートします。日々お届け頂いている皆様の声を積極的に市政に届けてまいります。

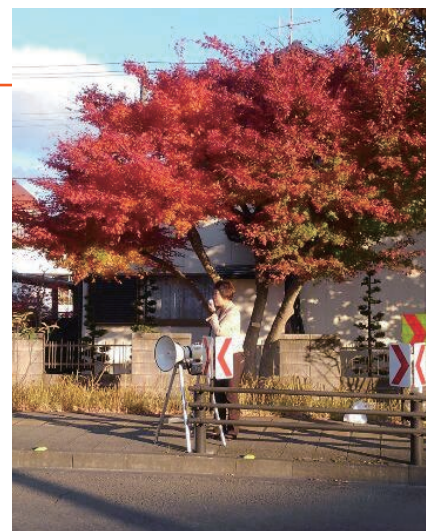
3月には、東日本大震災より丸6年を迎えます。この6年間、皆様との対話を通し様々な課題に取り組み一歩ずつ前に進んで参りました。市内各地に設置されていた仮設住宅も解体が進み3月には終了となる予定です。建設中のかさ上げ道路は平成30年度に完成予定。それに伴っての避難道路も整備中です。目に見える復興は着実に進んでいますが「心の復興」は、まだまだこれからです。今後も、皆様の生活の再建がなされるまで、寄り添ってまいります。

仙台市議会議員 佐々木まゆみ

### 女性局の方々と区内各地で街頭演説会を実施!

4月から11月にかけて、女性局の方々と宮城野区内随所で街頭より挨拶をさせていただいております。

写真は紅葉が見事な鶴ヶ谷公設市場北側です。



さ さ き

#### 佐々木まゆみのプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野選挙区)。現在2期目。  
【仙台市議会】都市整備建設委員会副委員長。防災・減災推進調査特別委員会。  
【公明党】宮城野西支部長。

# 防災について様々な視点から問う ユースエール制度、 マイナンバーカードについて。

平成28年度 第4回定例会

一般質問 平成28年12月13日



## 防災ジュニアリーダーの育成について

**【佐々木まゆみ議員】**東日本大震災が発生した時、私たちは、中学生が避難所や地域で大きな役割を担ったことを経験した。発災時間が日中の場合、地域にいるのは中学生である。

先日、東京都荒川区の中学校を視察。公立中学校全10校に、部活動の「防災部」が設置され、活動を始めて2年目になるとのことだった。

きっかけとなったのは、東日本大震災。荒川区長の強い思いもあり「自分たちのまちは自分たちで守る」という自覚を持った『防災ジュニアリーダー』の育成を目的として、中学校校長会の協力を得て創設された。防災部員は、自らの意見を取り入れたデザインのヘルメット、Tシャツ等をユニフォームとし、学校は違っても同じユニフォームを身に着け、防災訓練やボランティア活動等積極的に活動をしている。

荒川区はこの活動が評価され「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2016」(強靱な国・地域・人づくり等に資する、活動・技術・製品開発等に取り組んでいる企業・団体に贈られる)においてグランプリを受賞した。受賞理由として、東日本大震災被災地の訪問、「ジュニア防災検定」の受験、地域の高齢者訪問、中学生が「防災部」活動を通し町内会や消防団をはじめとする地域の方々と一緒に防災活動に関わることにより、地域への愛護精神を育み、防災活動はもとより様々な活動で地域社会に貢献できる次の世代の人材を育成などが挙げられている。そこで本市としてこの荒川区中学校の防災の取り組みについてどう思われるか。

また、仙台市でも地域活動に貢献できる人材を育成するため、荒川区「防災部」のように常設の場を設けることが大事と考える。活力ある中学生が平日頃の訓練・活動ができる、『防災ジュニアリーダー』の育成に取り組むべきと考えるがどうか。

**【仙台市長】**本市では、東日本大震災の経験を踏まえ、地域主体の避難所運営訓練等により、地域の防災力向上に努めてきた。これをさらに高めていくためには、地域団体はもとより、学校や企業など多様な主体との連携を深めることが不可欠と考える。荒川区の取り組みは、生徒の防災意識や地域を大切にすることをはぐくむ上で参考になる取り組みである。

本市においても震災後副読本を活用しながら、児童生徒が生涯にわたって必要な防災能力を習得できるよう、防災教育を進めてきているが、地域の防災訓練等への中学生の主体的な参加も増えているところである。今後も、中学生が地域の方々と一緒に防災活動に関わりながら、地域の防災に貢献できるよう、その育成に努めることにより、さらなる地域総体としての防災力向上につなげてまいりたいと考えている。

## 実効性のある防災訓練について

(1)段ボールベッドを活用した防災訓練について。

**【佐々木まゆみ議員】**これまでも避難所の環境改善、避難所生活の負担軽減については、大規模な災害が起こるたび問題視されている。避難所運営の訓練として段ボールベッドの組立実技訓練を取り入れるべきと考えるがどうか。

**【危機管理官】**多くの市民の皆様へ予め段ボールベッドについて理解していただくために今後、総合防災訓練等における段ボールベッドの組み立て訓練の実施について検討してまいりたい。

(2)ペット同行の防災訓練について。

**【佐々木まゆみ議員】**東日本大震災や熊本地震時も、避難所で動物の同伴を断られ、車中泊を余儀なくされた方々がいらっしゃった。避難は人命優先が大原則だが、環境省は被災者の心のケアと動物愛護の観点から、ペットの同行避難を推奨し避難所や仮設住宅での



ペットを受け入れるよう、平成25年夏自治体に通知をした。飼い主の防災意識の向上や、普段からのしつけなど適正飼育の普及、さらには地域住民の理解が深まり、人と動物の共生社会の推進につながる。

本市としても総合防災訓練の中で、京都市のように、よりペットに重点をおいた防災訓練が大事と考えるがどうか。

**【危機管理官】**避難所でのペットの受入れについては、震災の経験も踏まえ、避難所運営マニュアルにペット登録台帳の作成やペットスペースの確保方法などについて定め、これまでも総合防災訓練等において訓練を実施してきたところである。

災害時の避難所には、ペットアレルギーの方など様々な方が避難されることも想定し、平時から防災訓練の中でそれを検証し、避難される方の共通の理解を得ておくことが大切であると考えているので、今後もペット同行の訓練内容を吟味し、円滑な避難所運営が行えるよう取り組んで参りたい。

## 「ユースエール制度」について

**【佐々木まゆみ議員】**若者の採用・育成に積極的で、雇用管理の状況などが優良な企業を国が認定する「ユースエール制度」は、平成27年10月青少年雇用促進法が施行されたのに伴い始まった。

これまで高齢者や女性、障がい者を対象とした雇用対策法はあったが、若者を対象としたものはなく初めての青年雇用対策の法制化として、画期的な法律である。本市として「ユースエール制度」認定の企業は何社あるのか。

**【経済局長】**仙台市では、10月末現在で3社が認定を受けている。

**【佐々木まゆみ議員】**国がこの制度を導入した背景には、若者と中小企業のミスマッチ解消とともに、ブラック企業の社会問題化を受け、環境現場の改善を促すことで若者の離職率を引き下げたいとの、狙いがある。ユースエールに認定された企業は、国からさまざまな支援を受けることができる。

企業検索サイトやハローワークなどで重点的にPRされる他、認定マークを商品や広告などに使用して、若者の採用や育成に積極的であることをアピールでき、さらに、若者の採用・育成を支援するため、キャリアアップ助成金などの額も加算される。また日本政策金融公庫における低利融資や公共調達における加点評価といったメリットもある。

この制度に関する本市の周知広報の取り組みについてご所見を伺う。

**【経済局長】**これまで産業振興事業団の窓口や、国や県などと連携して開催している合同企業説明会の場などにおいて、地元企業・求職者双方に対し、制度の周知に努めてきた。今後も宮城労働局など関係機関と連携しながら、制度の活用が進むよう取り組んでいく。

## マイナンバーカードの普及啓発について

**【佐々木まゆみ議員】**本市のマイナンバーカードの申請率は11月末時点で10.3%に留まっている。利用促進について、啓発の仕方、効果的なPRが大事と考える。本市の課題と更なる機能啓発の取り組みの現状はどうか。

**【市民局長】**カードの交付を受けると、公的な本人確認書類として使用できる他、確定申告の際に電子申請が可能となるなど様々なメリットがある。特にコンビニにおいて午前6時半から午後11時まで住民票の写しなどが取得できることとなり、利便性が向上する。

これまでは、交付まで数ヶ月以上を要する課題もあったが、現在は申請から概ね1ヶ月で交付することが可能だ。今後も国による広報を踏まえつつ、本市としてもマイナンバーカードの利便性をお知らせする効果的なPR手法を検討・実施してまいりたい。

**【佐々木まゆみ議員】**マイナンバーカードには「マイキー部分」と言うICチップの空きスペース部分と公的個人認証の部分があり多目的利用ができる。

全国の公共施設等で利用可能でき、民間のポイントカードをマイナンバーカードに付与し、商店街等で使えるシステム「マイキープラットフォーム」を早急に構築し、マイナンバーカードの多目的化や地域活性化を図るべきと考えるがどうか。

**【まちづくり政策局長】**カードに内蔵された「マイキー」は、法令等により利用範囲が限定されているマイナンバー自体とは異なり、民間事業者も含めて多目的に利用できることから、カードの利便性を高め、普及に資することが期待されている。

自治体や商店街等が、マイキーを活用し、サービスを展開するためのマイキープラットフォームについては、国が構築の準備を進めており、平成29年夏を目途に実証実験が開始される見込みとなっている。国の動向を注視し、他の自治体の事例などの情報収集を行い、市民や事業者の方々に向けた情報発信も進めてまいりたい。



震災遺構「荒浜小学校」を視察(1月4日)



消防出初式に参加(1月6日)

市民の皆様の安全・安心の確保と消防関係者の一年間の安全と奮起を誓うための出初式。寒い中有難うございます。



東北楽天ゴールデンイーグルス激励会(1月20日)



鶴ヶ谷中央広場の桜の植樹祭に参加(11月19日)

小雨の中でしたが、多くの方が参加されました。中央広場は1月に完成。地域の方はもちろん、素晴らしい広場ですので、皆様ご利用ください。



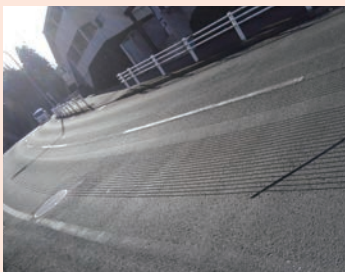
成人式に参加(1月8日)

仙台市では、約11,000名の方が成人になりました。



町内会の新年祝賀会(1月8日)

毎年恒例の地域の新年祝賀会に参加しました。



鶴ヶ谷東4丁目道路整備

鶴ヶ谷東4丁目、ウイル動物病院から利府街道へ抜ける市道。雪の日は下りでカーブのため事故が多いとのご相談があり、この度道路整備が完了しました。



避難所運営訓練に参加(11月13日)

初めての臨時給水所開設訓練をしました。地域の皆様、いつも有り難うございます。



仙台市中央卸売市場の業務開始式と初セリ(1月5日)

関係各位の皆様、いつも仙台の台所をありがとうございます。